

◆重点ポイント2

心豊かな包摂社会の実現に向けた地域づくりに資する施策

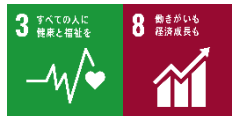


【大田区立龍子記念館】

誰もが安心して暮らせるまち  
心豊かにいきいきと暮らす地域

2億8,608万7千円  
49億6,547万5千円

## 2 心豊かな包摂社会の実現に向けた地域づくりに資する施策



# 福祉現場におけるハラスメント対策事業 新規 実施計画

予算額 170万5千円

### 概要

福祉現場におけるカスタマーハラスメント問題への対応として、区と事業者共通の対策・対応マニュアルの作成、区内福祉事業者向けの研修会の実施により、大田区内の福祉従事者が安心して働くことができる環境を整備します。

#### 1 予算要求の背景、経緯

区内福祉現場では、カスタマーハラスメントへの対応に苦慮している現状があります。区では、これまでもカスタマーハラスメントに関して、福祉事業者や従事者からの相談に対応してきましたが、更なる支援体制の強化が求められています。

#### 2 事業の目的

福祉現場におけるカスタマーハラスメントに関して、区と福祉事業者が共通認識のもと、対策・対応を行っていくことのできる体制を整備することで、福祉サービスの質の向上と福祉人材の定着を図ります。

#### 3 内容

##### (1) カスタマーハラスメント対策・対応マニュアルの作成

福祉現場におけるカスタマーハラスメントに関して、事業者にも有効な取組や発生時の対応フロー、個別支援の継続に向けた関係機関との連携方法など、カスタマーハラスメント対策と対応に関するマニュアルを、区内福祉事業者の皆様と連携・協力しながら作成します。



##### (2) カスタマーハラスメント対応研修の実施

区内福祉事業所の管理者等を対象に、事業者にも求められるカスタマーハラスメント対策や、発生した際の対応方法等に関する研修会を実施します。



### 問合せ先

福祉部 福祉管理課長 黄木  
電話:03-5744-1241

## (仮称)認知機能検診

予算額 2,969万2千円

### 概要

若年性の症例を含む認知症に関する正しい知識の普及啓発や、早期発見・早期支援に繋げることを目的に、「(仮称)認知機能検診(現もの忘れ検診)」の対象年齢を拡大します。

#### 1 予算要求の背景、経緯

認知症の早期発見・治療は、症状の緩和や心理的負担の軽減に繋がることから、自治体による取組の強化が求められています。これまでは、認知症の有病率が75歳以上で急激に上昇することから、それに備えた高齢者向けの検診の実施が推奨されていました。

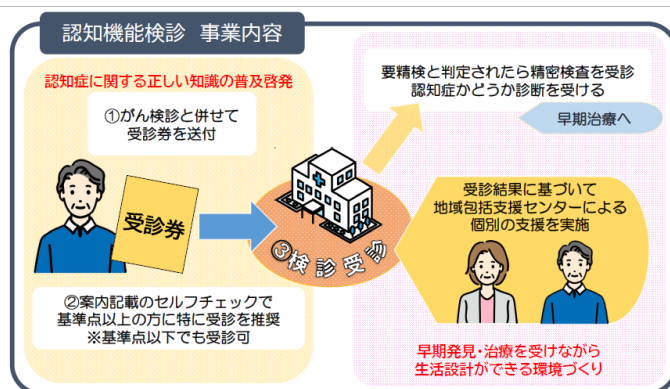
しかし、より若い世代を含めた早期発見の重要性が高まっていることから、大田区では検診の対象年齢を拡大します。高齢福祉課で実施していた検診事業を健康づくり課へ事務移管することで、若年性の症例を含む認知症の早期発見・早期支援を推進します。

#### 2 事業の目的

若年性の症例を含む認知症を早期に発見し、適切な治療を受けながら生活設計ができる環境づくりを進めます。また、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行い、区民の健康寿命の延伸とQOLの維持向上を図ります。

#### 3 内容

- (1)対象年齢 50歳、55歳、60歳、65歳～85歳
- (2)案内方法 がん検診等と併せて受診券を送付
- (3)実施方法 案内に記載したセルフチェックを行ったうえで、区内実施医療機関で(仮称)認知機能検診を受診します。受診結果は地域包括支援センターと共有し、必要な支援に繋がります。



### 問合せ先

健康政策部 健康づくり課長 荒浪  
電話:03-5744-1660

## 地域密着型サービス施設への施設整備費等補助 **実施計画**

予算額 2億5,469万円

### 概要

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちの実現に向けて、支援や介護が必要な状況になっても、高齢者が「自分らしい暮らし方」を選択できるよう地域密着型サービス事業所の整備を支援します。

#### 1 予算要求の背景、経緯

大田区の高齢者人口は、2033年まで概ね横ばいで推移しますが、団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年にかけて緩やかな上昇傾向に転じることから、認知症高齢者や介護と医療の両方のニーズのある要介護者の増加が見込まれます。高齢者が住み慣れた地域の中で安心して生活し続けていくために、多様な介護サービスを提供する地域密着型サービス事業所の整備が必要となっています。

#### 2 事業の目的

介護と医療の両方のニーズのある要介護者の生活を支える定期巡回・随時対応型訪問介護看護や(看護)小規模多機能型居宅介護事業所の整備を支援します。認知症高齢者が家庭的な環境で介護サービスを受けながら生活できる認知症高齢者グループホームの整備を支援します。

#### 3 内容

地域密着型サービス事業所の整備・運営業者に対し開設に必要な経費を補助することで、これらの事業所・施設の整備を支援します。

##### 《補助対象経費概要》

- 1 施設整備費（建設費など）
- 2 開設準備経費（車両や寝具等の備品、人材募集の経費など）
- 3 定期借地権一時金（建設地の賃借料）
- 4 運営支援経費（開設後6か月間の土地・建物賃借料など）



### 問合先

福祉部 介護サービス推進担当課長 松田  
電話:03-5744-1266

## 東京2025デフリンピック気運醸成事業 **新規**

予算額 1,050万9千円

### 概要

令和7年11月に「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」が日本で初めて開催されます。区では、バスケットボールとビーチバレーボールの会場となっています。

大会の気運醸成を目的とし、大会概要や選手の紹介などのパネルを作成し、展示を行うとともに、競技会場の近隣商店街にてフラッグを掲出するなど、地域全体で大会を盛り上げることで、聴覚障がい者への理解を深め、共生社会の実現に向けた取組を推進します。

#### 1 予算要求の背景、経緯

令和7年11月に「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」が日本で初めて開催されます。区では、大田区総合体育館及び大森ふるさとの浜辺公園ビーチバレー場が競技会場となっており、バスケットボールとビーチバレーボールが実施されることから、地域全体で大会を盛り上げることで、デフリンピック競技大会の気運醸成に資する取組を推進します。

#### 2 事業の目的

競技会場を有する自治体として、デフリンピック競技大会の気運醸成を図ることで、地域全体でデフリンピック競技大会を盛り上げ、聴覚障がい者への理解を深め、共生社会の実現を図ります。

#### 3 内容

デフリンピック競技大会への気運醸成を図るため、大会概要や選手の紹介などのパネルや横断幕などを作成し、さまざまなイベントや区内施設などと連携を図り、デフリンピック競技大会のPRを行います。地域の取組として、フラッグを作成し、競技会場の近隣商店街でのフラッグ掲出やビーチバレーボール会場周辺でのライトアップ等を実施します。また、競技会場となる地域を中心に、デフスポーツに関する講演会等を実施することで、障がい者スポーツへの理解促進を図ります。



【大田区総合体育館  
(バスケットボール競技会場)】



【大森ふるさとの浜辺公園ビーチバレー場  
(ビーチバレーボール競技会場)】

### 問合せ先

スポーツ・文化・国際都市部 スポーツ推進課長 千葉  
電話:03-5744-1635



## 平和島公園水泳場に関する基本計画の策定 **新規**

予算額 2,398万円

### 概要

老朽化した水泳場を建て替えることで、身近で気軽に誰もがスポーツに親しめる機会を創り出し、健康でいきいきした豊かな生活をおくることができるまちづくりを推進します。

#### 1 予算要求の背景、経緯

大田区スポーツ推進計画(改定版)では、「スポーツで創る健康で豊かなくらしとまちの活力」を理念として掲げており、区民ニーズを踏まえた施設の計画的な整備に取り組むこととしています。平和島公園水泳場は、屋外プールが建設されてから50年以上、屋内プールは30年以上経過し、施設の老朽化が進んでおり、施設の更新が必要な時期に差し掛かっています。

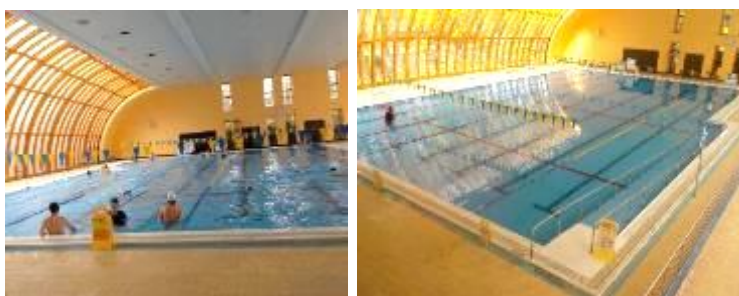
#### 2 事業の目的

スポーツ施設の計画的な整備の1つとして、老朽化している平和島公園水泳場を建て替えることで、身近で気軽に誰もがスポーツに親しめる機会を提供します。

#### 3 内容

水泳場の建替えは公園の再整備と合わせて取り組むこととし、公民連携手法を活用した建替えを想定しています。

基本計画では、平和島公園水泳場の規模や水泳場内に配置する施設、設備などの計画、概算の工事費用の算出など建替えに必要な基本的なことを検討します。



【現況の平和島公園水泳場】

### 問合せ先

スポーツ・文化・国際都市部 スポーツ推進課長 千葉  
電話:03-5744-1635  
都市基盤整備部 公園課長 小泉  
電話:03-6715-1823

## 郷土博物館企画展 **実施計画**、龍子記念館特別展、熊谷恒子記念館 かなの美展などの開催

予算額 2,601万9千円

### 概要

郷土博物館では、木版画作品を通じて日本の技と美を伝える企画展を開催します。新作版画の制作に初めて挑んだ高橋松亭と、風景画の分野で新版画制作を先導した川瀬巴水の作品を展示します。

龍子記念館では、川端龍子の生誕140年を記念して特別展「川合玉堂と川端龍子(仮称)」を開催します。日本の自然を詩情豊かに描いた玉堂と、俳句によって親交を深めた龍子との交流を紹介する特別展です。

熊谷恒子記念館では、かなの美展を3回開催するとともに、伝統工芸士・町田久美子の「東京手描友禅」を紹介する地域連携プログラムを展示します。

### ◆郷土博物館企画展

#### 1 予算要求の背景、経緯

近年、新版画の作品展は多くの博物館・美術館で開催され、新版画への関心が高まっています。画業の最も充実した時期を大田区内で過ごした絵師の高橋松亭は、令和7(2025)年に没後80年という節目を迎えることもあり、作品の一部をお披露目するのに絶好の機会と捉えています。

また、松亭と同じく大田区内に長く居住し、国内外で高い人気を誇る川瀬巴水の作品も同時に展示することで、松亭の作品のPRにもつなげていきます。



【高橋松亭「池上」『都南八景之内』大正11年1月】

#### 2 事業の目的

高橋松亭・川瀬巴水の作品を区の財産として展示することで、貴重な文化遺産をPRするとともに、“郷土の版画絵師”としての松亭・巴水の認知度を高めることを目的とします。また、木版画制作の技術者集団(版元・絵師・彫師・摺師)に光を当てることにより、完成作品の美しさとともに、今日に至るまで継承されてきた日本の伝統技術への理解も深めていただく機会とします。



【渡邊版画店の仕事場風景  
『ジャパン・ツーリスト・ビューロー』1936年4月号】

#### 3 内容

《会期》令和7年10月7日(火)～11月24日(月・祝)45日間(予定)

≪資料≫ 高橋松亭の木版画・肉筆作品約50点、川瀬巴水の木版画・肉筆作品約50点、他に順序摺り・写生帖等の展示を予定しています。  
≪催事≫ 講演会や展示解説などを予定しています。



【川瀬巴水「池上市之倉(夕陽)」  
『東京二十景』昭和3年作】

#### ◆龍子記念館特別展

##### 1 予算要求の背景、経緯

龍子記念館では、平成17年度から隔年で特別展を開催しています。令和7年度は、川端龍子の生誕140年にあたり、令和6年3月に記念館が国の登録有形文化財(建造物)に登録されたことも合わせ、川端龍子の再評価を促し、龍子記念館を全国区の美術館として大きな注目が集まるよう、特別展を開催します。

##### 2 事業の目的

「川合玉堂(かわいぎょくどう)と川端龍子(仮称)」と題して、俳句を通じて親交を深めた二巨匠の交流を紹介します。



【談笑する玉堂(写真左)と  
龍子(写真右)(昭和30年頃)】

##### 3 内容

≪会期≫ 令和7年度 秋(10～11月、開館日数28日程度)

≪展示作品≫ 玉堂の作品を、玉堂美術館(青梅市)やパラミタミュージアム(三重県)の協力を得て、龍子の作品も含め各地の美術館から借用した40点以上の出品作を展示します。

≪催事≫ 講演会やギャラリートークのほか、会期中に東京文化財ウィークが開催されることから、龍子公園の特別公開も予定しています。

#### ◆熊谷恒子記念館地域連携プログラム

##### 1 予算要求の背景、経緯

熊谷恒子のかなの美展の開催期間中に、地域の文化活動と連携した事業を展開するため、平成30年度から地域連携プログラムを実施しています。

##### 2 事業の目的

高校書道科の教科書でも取り上げられる熊谷恒子のかなの書の魅力を展示するとともに、区内で活動するアーティストを紹介し、身近で多彩な文化の魅力を伝えます。

##### 3 内容

≪会期≫ 令和8年2月21日(土)～3月22日(日)(予定)

≪展示作品≫ 区内在住の伝統工芸士・町田久美子の「東京手描友禅」の取組を恒子の着物や関連作品とともに展示します。

≪催事≫ 出品者を招いてのギャラリートークを予定しています。



【町田久美子「東京手描友禅」】

#### 問合せ

スポーツ・文化・国際都市部 文化振興課長 阿部  
電話:03-5744-1217



## 図書館DXの推進事業 **新規** 実施計画

予算額 2,378万3千円

### 概要

現在区立図書館では、インターネットによる図書の予約や自動貸出機・自動返却機の導入など、図書館DXを推進しています。令和7年度は、座席管理システムや共通かじだしカードをスマートフォンに表示させる機能を導入します。

#### 1 予算要求の背景、経緯

来館者数の多い図書館では、開館前に閲覧席を確保するための行列が発生することや、開館から閉館まで同じ利用者が座席を占有する状況がみられます。また、図書館に来館し図書を借りる際は、共通かじだしカードを持ち歩く必要があり、このような状況を解消し、利用しやすい図書館を目指していく必要があります。

#### 2 事業の目的

座席管理システムや共通かじだしカードをスマートフォンに表示させる機能を導入することで、座席利用の公平性の確保や図書館利用の利便性を向上させ、いつでも、どこでも、誰でも利用しやすい図書館サービスを提供します。

#### 3 内容

##### (1)座席管理システムの導入

区内で来館者が多い、池上図書館、洗足池図書館、大田図書館の3館に導入します。当日の閲覧席の利用予約や、事前に自宅などからインターネットを介して予約することもできます。



##### (2)共通かじだしカードのスマートフォン表示機能の導入

利用者が常時携帯しているスマートフォンに共通かじだしカードの番号をバーコード表示させ、図書を借りる時などに利用できるようにします。



### 問合せ先

教育総務部 大田図書館長 後藤  
電話:03-3758-3471

## おたふくかぜ予防接種費用助成事業 新規

予算額 4,367万8千円

### 概要

おたふくかぜを発症すると有効な治療薬がなく、こどもにおいては髄膜炎、脳炎、肺炎、難聴等の重篤な合併症を引き起こすリスクがあります。

おたふくかぜワクチンを接種することで、おたふくかぜの発症や合併症予防の効果が期待できるため、こどもに対するワクチン接種費用の一部を助成し、区民の健康を支援する環境を整えます。

#### 1 予算要求の背景、経緯

おたふくかぜを発症すると有効な治療薬がないため、おたふくかぜワクチン接種が効果的に予防する有効な手段となります。現時点でおたふくかぜワクチンは任意接種のため、全額自己負担となっていますが、健康で安心した生活を送っていただくために、ワクチンを接種しやすい環境を整えます。

#### 2 事業の目的

合併症リスクのあるこどもの感染症予防や子育て世代の経済的負担を軽減することを主な目的としています。

#### 3 内容

《助成対象》 接種日現在、1歳以上6歳(小学校就学前)以下の大田区民の方

《助成期間》 令和7年4月1日～令和8年3月31日

《助成金額》 3,000円/回、2回まで



### 問合先

健康政策部 感染症対策課長 石川  
電話:03-5744-1460

## 失語症者向け意思疎通支援事業 新規

予算額 71万8千円

### 概要

失語症者の団体に、意思疎通支援者を派遣してコミュニケーション支援をすることで、失語症者の居場所づくりや団体活動の活性化につなげ、失語症者の自立と社会参加の促進を図ります。

#### 1 予算要求の背景、経緯

失語症とは、脳の損傷によって話す・聞く・読む・書くなどのコミュニケーション能力に困難が生じる障がいです。失語症者は、全国に30～50万人いるとされています。

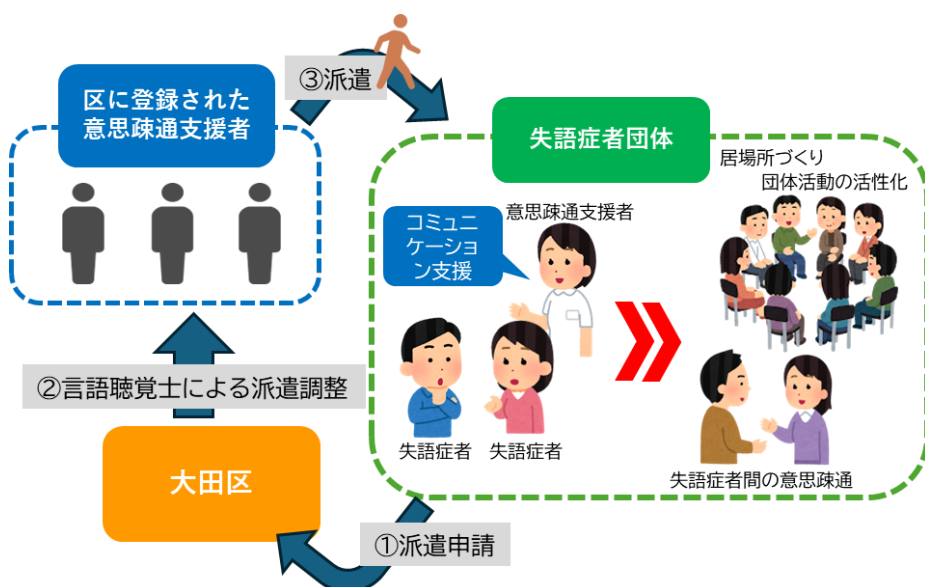
区では、令和2年9月に「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」を制定し、それぞれの障がい特性に応じた意思疎通支援の取組を推進しています。

#### 2 事業の目的

区内失語症者の団体に、意思疎通支援者を派遣してコミュニケーション支援をすることで、失語症者の居場所づくりや団体活動の活性化につなげ、失語症者の自立と社会参加の促進を図ります。モデル事業として1団体を対象に実施し、事業のあり方やその効果について検証します。

#### 3 内容

- ①失語症者の団体が、区に意思疎通支援者の派遣申請を行います。
- ②失語症者の症状に合った意思疎通支援者を、言語聴覚士が派遣調整します。
- ③意思疎通支援者が派遣され、失語症者のコミュニケーション支援を行います。



### 問合せ先

福祉部 障害福祉課長 浅沼  
電話: 03-5744-1249

## 障がい者向けグループホームの整備促進 実施計画

予算額 5,000万円

### 概要

障がい者の地域への移行を進めるとともに、障がい者の高齢化や重度化が進む中、一人ひとりの意思を尊重し、本人が望む暮らしを実現するため、障がい者向けグループホームの整備を促進します。

#### 1 予算要求の背景、経緯

障がい者の暮らし方に対するニーズは多様化しており、地域で安心して生活していくための居住の場として、グループホームの整備が求められています。特に、強度行動障害者や医療的ケア者など重度の障がいがある方が利用できるグループホームの数が少なく、整備が課題となっています。

#### 2 事業の目的

グループホームの整備促進を図ることで、障がい者が地域で安心して暮らすための居住の場を整備し、地域への移行を進めます。また、強度行動障害者や医療的ケア者などの重度の障がいがある方が、住み慣れた地域で希望する暮らしを継続できるよう、利用可能なグループホームの整備を積極的に促進します。

#### 3 内容

区内で新規にグループホームを開設する事業者に対し、整備費の補助を行います。なお、重度の障がい者に対応したグループホームについては、事業者負担を軽減するための特別助成を行い、整備を促進します。

##### 《補助対象事業》

東京都が定める障害者通所施設等整備費補助要綱に基づき支給される補助金の交付対象となるものでグループホーム整備に係る事業(ただし、都補助要綱の対象となる事業者の一部を除く)

##### 《補助額の上限》

(1)障がい者グループホーム 2,000万円

(2)重度障がい者対応グループホーム 3,000万円

※(2)については、東京都の障害者(児)施設整備費補助等重度対応特別単価取扱要領の対象となる施設に限る。

また、令和8年度までに着工した事業に限る。



### 問合せ先

福祉部 障害福祉サービス推進担当課長 竜崎  
電話:03-5744-1679

## 2 心豊かな包摂社会の実現に向けた 地域づくりに資する施策



### 障がい者福祉施設の整備 **実施計画**

予算額 46億8,740万8千円

#### 概要

障がい者の日中活動の場となる生活介護施設などを確保していくため、区立障がい者福祉施設の改築、増築及び改修を行い、機能の見直しと拡充・強化を図ります。

#### 1 予算要求の背景、経緯

一部の区立障がい者福祉施設は築30年以上を経過しており計画的な機能更新が必要です。

また、身体や知的障がいの重い方が、日中活動の場として利用する生活介護事業の定員数は将来的に需要に対して不足することが見込まれています。障がい福祉サービスを必要とする方のニーズは多様化しており、医療的ケアが必要な方や重度の障がいがある方なども利用できるよう配慮していく必要があります。

#### 2 事業の目的

対象施設の改築、改修等を行うことにより、日中活動の場となる生活介護の定員を増やすほか、重症心身障がい者通所事業や短期入所事業の拡充に取り組みます。

#### 3 内容

- (1)大田生活実習所(昭和55年築)を改築
- (2)南六郷福祉園・くすのき園(昭和62年築)を増築及び改修
- (3)新井宿福祉園(昭和46年築)を改築



【大田生活実習所(完成予想図)】



【南六郷くすのき園(完成予想図)】



【新井宿福祉園(完成予想図)】

#### 問合せ先

福祉部 障害福祉サービス推進担当課長 竜崎  
電話:03-5744-1679



## (仮称)上池台二丁目複合施設 基本設計の策定 新規

予算額 9,938万円

### 概要

大田区立洗足区民センターは、昭和44年に建築され築後約60年が経過しており、施設の老朽化が進行しているため、「大田区公共施設等総合管理計画」に基づき建替えを行います。水と緑が豊かな洗足池周辺の「地域特性」などを踏まえながら、生涯にわたり新たな出会いや発見を促進し、地域力の向上につながる施設を整備します。

### 1 施設のコンセプト

『つながる・ひろがる地域の輪』

- (1)すべての地域住民の交流の場であって、安全・安心な居場所となる施設
- (2)全世代の学び場であって、成長や発見の機会を創出する施設
- (3)自然や文化の活力があふれ、まち全体が活性化する地域拠点

### 2 施設の機能

各諸室の利用率向上に向け、現状の利用状況を踏まえた見直しを行い、利用者ニーズに合致するように再編を行う。

- (1)コミュニティ機能・・・地域の多様な活動を支え、人々がつながり、ひろがる場(区民センター)
- (2)集会室機能・・・各種講座や元気体操など、全世代の学びの場(区民センター)
- (3)体育室機能・・・スポーツを通じた地域の活力を生み出す場(区民センター)
- (4)高齢者支援機能・・・高齢者の元気維持・介護予防のための場(連携強化型シニアステーション)
- (5)こどもの居場所機能・・・地域でこどもの育ちを支える場(児童館)
- (6)子育て支援機能・・・地域の子育て支援拠点となる場(子ども家庭支援センター)

### 3 スケジュール(予定)

令和7年度 基本設計策定

令和8年度 実施設計策定

令和9年度以降 現洗足区民センターの解体、建築工事開始



### 問合先

地域力推進部 雪谷特別出張所長 真鍋  
電話:03-3729-5117